

説 教

聖日礼拝 北浜チャーチ
2021年6月20日(水)
黒田 禎一郎

主 題：「約束の確かさを知っていますか」
—霊的資源—

テキスト：第2ペテロの手紙1章、3、4節

はじめに

- ・前回、私たちはこの書簡の冒頭から学びました。少し復習しましょう。
著者は使徒ペテロで、この書簡の受取人は離散したユダヤ人クリスチャンでした。彼らは戦いと苦難の中にありましたが、ペテロは主イエス・キリストにあって、「恵みと平安」(霊的祝福)に生きるキリスト者になって欲しいと願いました。
- ・そこで「恵みと平安」を得る秘訣は、主イエス・キリストを知ることにあると述べました。大切なことは次の2点です。
 1. 主従関係を覚える
イエスを私の主とする関係のことです。
 2. 主イエスのことばを聞き続ける
聖書のみことばを読み、聖霊のお助けをいただきながら、主イエス・キリストを知識的に、そして人格的に知ることです。
- ・ここまでの前回、私たちが学んだテキストでした。
- ・今日のテキストは、その次の1章3節、4節です。ペテロはこの2節で何を伝えようとしているのでしょうか。それは神が約束くださったことは、確かであるということです。
- ・一般的に、私たちにとって約束を守ることは難しいことですね。仮に、約束をすべて守ることができるならば、私たちが抱える様々な問題は、はるかに減少することでしょう。人間は守りたいと願っても、守りきれない弱さがあります。
- ・しかし、神はそのようなお方ではありません。聖書は次のように述べています。 **第2コリント人への手紙**
1:20 神の約束はことごとく、この方において「はい」となりました。それで私たちは、この方によって「アーメン」と言い、神に栄光を帰するのです。
- ・では、神はどんな約束を与えてくださったのでしょうか。2点

大切なポイント

1. 私たちに与えられた特権

1:3 私たちをご自身の栄光と栄誉によって召してくださった神を、私たちが知ったことにより、主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔をもたらすすべてのものを、私たちに与えました。

1) 「いのちと敬虔」

- ・新約聖書の原本はギリシャ語で書かれましたが、この3節のはじめは「すべてのもの」という言葉から始まっています。独語のルター訳聖書も、同じように「すべてのもの」と、始まっています。それは私たちの信仰の歩みにおいて、必要とされる一切のものが与えられているということです。それは神の恵みであります。
- ・皆さん。誤解しないでくださいね。私たちが必要と感じたり、必要と願ったりするものが、なんでも与えられているという意味ではありません。ペテロが言う意味には、もう少し深いものがあります。それは私たちが日ごとに主イエスを知ることによって与えられるものです。
- ・ペテロは「いのちと敬虔をもたらすすべてのもの」と述べています。ここでいう「いのち」とは、新しいいのち、永遠のいのちを指しています。また「敬虔」とは、神を敬う生き方を指しています。それは神と共に生きるということで、神を恐れ、神の主権を尊び、神のみ旨を重んじて生きようとする生き方のことです。
- ・この「いのちと敬虔」という言葉の組み合わせは、じつは両者は切っても切り離すことができない関係です。「敬虔」とは、まことの「いのち」にあずかった人の内に始まる新しい歩みのことです。それは私たちの人生の全工程を包むもので、そこで一切のものが与えられるということです。なんという幸いでしょうか。
- ・私たちがこの幸いを経験させていただくためには、ペテロは私たちが神を知ることによる、と述べました。神を知ることによって、この幸いを経験させていただけると説きました。それが私たちに与えられた特権です。

2) 神を知ること

- ・神を知ることが、私たちキリスト者にとって重要なことです。神を知ることこそ、私たちが生きる力となります。パウロも次のように述べました。

エペソ人への手紙

1:17 どうか、私たちの主イエス・キリストの神、栄光の父が、神を知るための知恵と啓示の御霊を、あなたがたに与えてくださいますように。

- ・私たちが毎日の生活で、神を知るために「知恵と啓示の御霊」が与えられるならば、どんなに大きな助けとなるのでしょうか。しかしこの世は、神を知る

うとしませんでした。ローマ人への手紙

1:28 また、彼らは神を知ることによって価値を認めなかったため、神は彼らに無価値な思いを引き渡されました。それで彼らは、してはならないことを行っているのです。

- ・しかしながら、私たちは神を知り、上からの知恵をいただいて歩みたいものです。では、神を知るとは具体的にどういうことでしょうか。3点

① 神の権威を知ること

- ・ペテロは「主イエスの、神としての御力は」、と述べました。それは神の権威であります。イエスは次のように言われました。マタイ福音書

26:53 それとも、わたしが父にお願いして、十二軍団よりも多くの御使いを、今すぐわたしの配下に置いていただくことが、できないと思うのですか。

これはイエス・キリストが持つておられる権威のことです。大切なことは、私たちの主イエス・キリストは、このような大いなる権威をお持ちのお方であることです。

- ・神は今も生きておられ、歴史の中に存在され、権威あるお方であることを知ることは大切です。

② 神の召しを知ること

- ・ペテロはこう言いました。

1:3 私たちをご自身の栄光と栄誉によって召してくださった神

- ・「召し」とは、「呼ぶ」、「招く」ということです。神は私たちを救いに選び、呼び出してくださいました。それは神からの「招き」、「召し」でした。神はご自身との確かな交わりへとお招きくださいました。それは神への信仰が支えられ、励まされ、導かれるためです。その神を知ることが大切です。神の恵みの豊かさを知れば知るほど、私たちは主の「召し」（招き）に対して誠実に生きたいと願うはずで

③ 神の本質を知ること

- ・私たちは、私たちが信じる神の本質を知ることが大切です。ペテロは神の本質についてこう述べました。第一ペテロの手紙

2:22 キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。

2:23 ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しくさばかれる方にお任せになった。

2:24 キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あな

たがたは癒やされた。

2:25 あなたがたは羊のようにさまよっていた。しかし今や、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰った。

- 神の本質は「愛」です。神は真実なお方です。栄光と徳に満ちておられます。私たちは日々の歩みの中で、このお方を見続けることが大切です。私たちはこのような神を知ることによって、「いのちと敬虔」に関するすべてのことが与えられることを悟ることができます。
- これが神に召された人に与えられる特権です。ペテロは言いました。
1:3 私たちをご自身の栄光と栄誉によって召してくださった神を、私たちが知ったことにより、主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔をもたらすすべてのものを、私たちに与えました。
- ペテロはもう一点述べました。

2. 約束の尊さを知りなさい

1:4 その栄光と栄誉を通して、尊く大いなる約束が私たちに与えられています。それは、その約束によってあなたがたが、欲望がもたらすこの世の腐敗を免れ、神のご性質にあずかる者となるためです。

1) イスラエルの神は聖なるお方

- 神は約束の誠実さを、ご自身が語られたみことばで表しておられます。すなわち、みことばに対して誠実であるお方です。このことは私たちも、神のみことばに誠実であることを求められます。
- 神は旧約聖書の時代、ご自身の正しさ、ご自身の義について教えてこられました。イザヤはイスラエルの神について、このように記しました。
イザヤ 37章 イザヤは言いました。
37:16 「ケルビムの上に座しておられるイスラエルの神、万軍の【主】よ。ただ、あなただけが、地のすべての王国の神です。あなたが天と地を造られました。
- イザヤ 54章、神は言われました。
54:10 たとえ山が移り、丘が動いても、わたしの真実の愛はあなたから移らず、わたしの平和の契約は動かない。——あなたをあわれむ方、【主】は言われる。
- イザヤ書 55章 神は言われました。
55:10 雨や雪は、天から降って、もとに戻らず、地を潤して物を生えさせ、芽を出させて、種蒔く人に種を与え、食べる人にパンを与える。
55:11 そのように、わたしの口から出るわたしのことばも、わたしのところに、

空しく帰って来ることはない。それは、わたしが望むことを成し遂げ、わたしが言い送ったことを成功させる。

- ・これがイスラエルの神です。信仰の土台とは、イスラエルの神が語られた確かなみことばへの信頼にあります。

2) 尊く大いなる約束

- ・神はこの書簡を通して、幸いな約束をお与えくださいました。その目的は、私たちが神の性質にあずかる者となることです。あるいは神に似る者となるためです。
- ・では、神はどのような約束を与えてくださったのでしょうか。

◎ 神の約束

- ① 罪の赦し ヨハネ 3 : 16-18
- ② 新生する 2 コリント 5 : 17
- ③ 神を知り、永遠の命を持つ ヨハネ 3 : 36
- ④ 聖霊によって真理の光に照らされる 1 ヨハネ 2 : 20
- ⑤ 聖霊によって新しい命に歩む 1 コリント 12 : 13
- ⑥ 聖霊の内住による聖化と勝利 2 コリント 3 : 17、18、
御霊の実を受ける ガラテヤ 5 : 22、23
- ⑦ 幸いな希望 再臨のとき朽ちないもの 1 コリント 15 : 42-57
- ⑧ 主の新天新地へ入る 至福の生活へ 2 ペテロ 3 : 13

- ・皆さん。神から遠く離れ価値のない者が、神から召され、神の祝福にあずかる者とされました。パウロは次のように述べました。エペソ人への手紙 1:19 また、神の大能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力が、どれほど偉大なものであるかを、知ることができますように。

- ・この世には多くの誘惑があります。私たちの内には古い性質が残存しています。世は昼も夜も私たちに誘惑してきます。しかし神の約束は次のようです。ピリピ人への手紙

1:6 あなたがたの間で良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださると、私は確信しています。

- ・では、どうすれば神の約束を得ることができるのでしょうか。信仰生活には2通りあります。それはイエスが語られた例話で知ることができます。マタイ福音書 25章 14-30節
- ① 主人から1タラントあずかったしもべのタイプと、

- ② 5タラント、2タラントあずかったしもべの二つのタイプです。
- ① は「主人は何も与えてくれない」と言い、1タラントを土中に埋めておいた悪いしもべです。彼の生活には感謝はなく、不平不満の思いがありました。
- ② は、主人から与えられたタラントを喜び、それを最大限に用いて、さらに豊かな生活を送りました。そればかりか「倍返し」をしました。主人はこのしもべになんと言われたでしょうか。

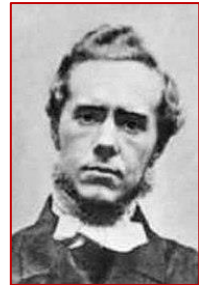
「よくやった。良い忠実なしもべよ」(マタイ25:32)と。

- ・神は私たちに豊かな霊的資源(いのちと敬虔)を与えてくださいました。

私たちは、どのように管理しているのでしょうか。

『例話』ハドソン・テラー宣教師 (英国人)

- ・中国奥地伝道団(現在、OMFインターナショナル)の創始者ハドソン・テラー(Hudson Taylor)、には幸いな多くの証しが残っています。彼はキリストにある豊かな資源を発見した人でした。その結果、自らも団体も、飛躍的に成長しました。
- ・彼の団体は宣教師が増加し(一時は800人の宣教師)、それに125の学校を開校し、18,000人の回心者を生みました。彼は喜びの人であったと言われます。
すべてを神にゆだね、祈りに多くの時間を用いました。夜は早く床に就き、朝は5時に起きました。一日の仕事始める前に、心を静めて、祈りと聖書の学びの時を持ちました。その中で、彼はキリスト者として霊的祝福を受ける人となりました。
- ・今日の世界は非常に複雑化してきました。人々は常に緊張の中で生きています。今こそ、人はキリストの豊かさの中に生きることが必要です。私たちはテラー宣教師のように劇的ではなくても、キリストにある豊かさをみことばの中に発見することができます。その豊かさとは、「いのちと敬虔」という霊的資源のことです。そして一步一步、成長していきたいものです。



ま と め

主 題：「約束の確かさを知っていますか」

—霊的資源—

- ・今日も、私たちは大切なことを学びました。神は私たちを本当に愛しておられます。そして幸いな約束を与えてくださいました。神の約束は、短くまと

めて8点、①「罪の赦し」からはじまり、⑧主が備えておられる新天新地の御国に入る幸いです。神は、これらの約束を信じる者に、無償で、恵みとして与えてくださいました。

- では、どうすればそのような幸いな生活を過ごすことができるのでしょうか。

→ 心を静めて、神の約束を知ることです。

そして主人から「よくやった。忠実なしもべよ」と言われるように、歩むことです。最後に4節をお読みしましょう。

1:4 その栄光と栄誉を通して、尊く大いなる約束が私たちに与えられています。

それは、その約束によってあなたがたが、欲望がもたらすこの世の腐敗を免れ、神のご性質にあずかる者となるためです。

* God bless you !